

(電 子 入 札 用)

委 託 設 計 書

委 託 名

令 和 8 年 度

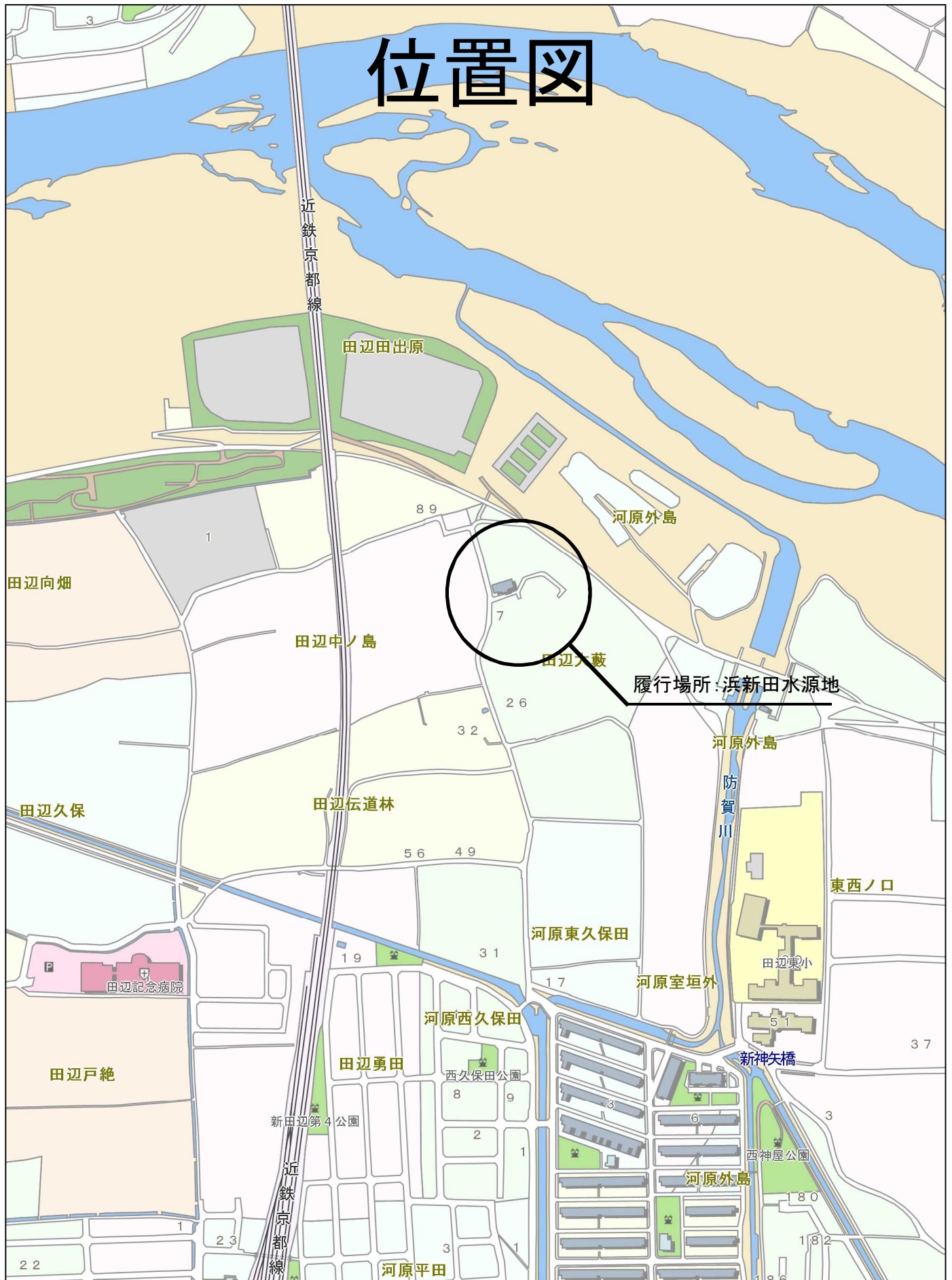
浜 新 田 水 源 地 深 井 戸 整 備 詳 細 設 計 業 務 委 託

設 計 書 一 覧		
設 計 図 書	○	特 記 仕 様 書
	○	質 問 書
参 考 資 料	○	金 抜 き 設 計 書
	○	積 算 参 考 資 料

入 札 時 の 工 事 費 内 訳 書 記 載 項 目 の 範 囲	・ 金 抜 き 設 計 書 の 委 託 内 訳 書
--------------------------------------	------------------------------

※ ○ 印 は 公 表 図 書 。

位置図



令和 8 年度

浜新田水源地深井戸整備詳細設計業務委託

特 記 仕 様 書

令和 8 年度

京田辺市上下水道部

浜新田水源地深井戸整備詳細設計業務委託

特記仕様書

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、京田辺市上下水道部が実施する「令和8年度 浜新田水源地深井戸整備詳細設計業務委託」に適用する。

(通則)

第2条 本業務の実施にあたり、受注者は本特記仕様書のほか、業務委託契約書、業務委託共通仕様書、「水道施設設計業務委託標準仕様書」：日本水道協会（以下「標準仕様書」という）、及びその他諸法令・諸法規を遵守して、業務の円滑な進捗を図るものとする。

(ウィークリースタンス)

第3条 本業務は、ウィークリースタンスの対象である。実施にあつては、「京田辺市ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し取り組むものとする。

(業務の目的)

第4条 本業務は、将来の自己水源確保に向けて、「令和6年度 浜新田水源地調査業務委託」及び「令和7年度 浜新田水源地深井戸施設基本設計業務委託」の成果を基に、浜新田水源地敷地内に 2,000 m³/日以上の新設井戸(深井戸)を掘削し取水ポンプ等の機電設備及び場内配管・整備を行う工事を実施するための詳細設計を行う。併せて前述の深井戸整備に伴い増加する導水量 7,300m³/日に対応するため、導水ポンプの改良及び場内電気設備の改良に係る導水施設更新工事を実施するための詳細設計を行うものである。

(履行場所)

第5条 本委託の履行場所は、以下のとおりとする。

京田辺市 田辺 地内

(業務期間)

第6条 本委託業務期間は、以下のとおりとする。

自：契約日の翌日

至：令和9年3月12日

（配置技術者）

第7条 受注者は下記のとおり技術者を配置すること。

- ① 受注者は設計業務における管理技術者・照査技術者を定め発注者に通知するものとする。
- ② 管理技術者は、技術士(上下水道部門及び工業用水道部門)または、RCCM(上水道及び工業用水道)の資格を有する者とする。
- ③ 照査技術者は、技術士(上下水道部門及び工業用水道部門)または、RCCM(上水道及び工業用水道)の資格を有する者とする。
- ④ 本業務における担当技術者は同種業務(深井戸整備設計)の実務経験を有すること。また、担当技術者の経歴書及び資格証写しを業務計画書(業務組織計画)に添付すること。
- ⑤ 照査技術者は、照査計画を作成し業務計画書に記載し、照査に関する事項を定めなければならない。
- ⑥ 照査技術者は、業務完了に伴って照査結果を照査報告書としてとりまとめ、照査技術者の署名捺印のうえ管理技術者に提出する。

（安全管理）

第8条 本業務の実施にあたり、受注者は現地調査等に関する安全管理に努めるものとする。また、対象施設は稼動中であることから、水運用に支障をきたさないよう十分留意するものとする。

（設計協議）

第9条 業務を円滑に遂行するために、以下の各段階で必要な事項について協議を行うほか、必要に応じて協議を行うこととする。

- | | |
|----------|------------|
| ① 業務開始時 | 1 回(半日)程度 |
| ② 中間打合せ | 3 回(各半日)程度 |
| ③ 最終打合せ | 1 回(半日)程度 |
| ④ 成果品の検査 | |

なお、上記①③④及び重要な打合せを行う際は、管理技術者が出席すること。

また、受注者は発注者と協議した協議録を作成し提出すること

(業務内容)

第10条 受注者は、次の事項の確認または検討を行い、その内容及び結果をそれぞれの事項ごとに明確にまとめ、成果品を提出すること。

なお、標準仕様書及び特記仕様書に明記されていない事項でも、当該業務目的のために当然必要な事項等については検討(調査)、作成等を行うこと。

その他疑義を生じた場合には、発注者、受注者協議の上これを定めるものとする。

(1) 業務計画

業務の目的・趣旨を把握した上で業務内容を確認し、業務計画書を作成する。

業務計画書には次の事項を記載すること。

- 1) 業務概要
- 2) 実施方針
- 3) 業務工程
- 4) 業務組織計画
- 5) 打合せ計画
- 6) 成果品の品質を確保するための計画
- 7) 成果品の内容・部数
- 8) 使用する主な図書及び基準
- 9) 連絡体制

(2) 資料収集・現地調査

設計に必要な既存施設、既存設備、周辺用地等の調査を行い、設計、施工、各段階における問題点、懸念事項を抽出すること。また、貸与した竣工図等は、本調査で現地と整合性を確認し、修正したうえで設計に活用すること。

(3) 深井戸施設新設詳細設計

- | | |
|------------|--|
| 1) 深井戸 | 300A(SUS304) , 深さ 200m 1 井
計画一日最大取水量 2,000m ³ /日 |
| 2) 取水ポンプ設備 | 深井戸用水中ポンプ 1 台
参考(φ100×1.39m ³ /min×29m×11kW) |
| 3) 電気設備 | 1 式 |
| 4) 場内配管 | 1 式(新設深井戸～既設導水ポンプ井) |
| 5) 場内整備 | 1 式 |

(4) 導水施設更新詳細設計

- | | |
|--------------------|--|
| 1) 計画導水量 | 7,300m ³ /日 (既設 5,300m ³ /日) |
| 2) 既設導水ポンプ撤去 | 1 式 |
| 3) 導水ポンプ設備更新 | 1 式 |
| 4) 既設電気設備(受変電含む)撤去 | 1 式 |
| 5) 電気設備(受変電含む)更新 | 1 式 |

(5) 水質調査(新設深井戸遊離炭酸)

過年度業務「令和 7 年度 浜新田水源地深井戸施設基本設計業務委託」において、既設試験井にて下半期に計 3 回の遊離炭酸調査を行った結果、いずれも深井戸原水の遊離炭酸が目標値以上の濃度(徐々に減少傾向ではある)であることを確認した。

本業務においては引き続き遊離炭酸調査(2 回程度)を実施し、過年度業務の調査結果と合わせて季節変動や濃度変動傾向等も考慮して、遊離炭酸の除去対策の要否を判定すること。

対策が必要な場合は、本施設に最適な除去方法について検討し詳細設計を行うこと。

調査方法については、受注者にて試験井に水中ポンプを設置し、一定時間以上の揚水・排水を行ったうえで採水し、国の登録を受けた検査機関において検査を行うこと。

- | | |
|------------------------|------|
| 1) 水中ポンプ据付・撤去 | 1 式 |
| 2) 水質安定化を目的とした予備揚水及び排水 | 1 式 |
| 3) 水質分析(遊離炭酸) | 2 検体 |

(6) とりまとめ

1) 設計計画

- ① 新設深井戸の採水層、採水方法、揚水量等の精査及び既設導水施設も含めた構造物、機械、電気設備等の細部事項の検討・設計を行うこと。
- ② 導水施設更新については、既設導水ポンプ設備及び既設電気設備(受変電設備含む)に対して、現状導水管並びに将来の導水管更新を見据えた上での最適な更新・改造とすること。
特に、電気設備については、必要最小限の改造や機能増設とするため、受電変圧器容量、ポンプ起動方式、配置や仮設計画などの詳細な検討を実施し、極力、受電変圧器等の更新が伴わない方法に配慮した設計とすること。
また、起動方式については、高効率電動機の起動電流を考慮した起動方式を検討するものとするが、電気室及びポンプ室の大きさにも配慮した配置計画とすること。更新に際しての施設停止時間(停電時間)に関しては、極力短くするよう検討を行うこと。
- ③ 深井戸施設新設及び導水施設更新によって、浜新田水源地・薪浄水場間における遠方監視制御装置に対する必要な機能増設を検討すること。また、それに伴い薪浄水場中央監視装置の機能改造についても検討・設計を行うこと。
- ④ 各検討に当たっては、既設施設との整合性と保守点検・維持管理内容を十分考慮し、必要能力・機能の検討を行うとともに、それぞれ複数案立案し、経済性・維持管理性等の長所・短所を整理した比較表を作成して方針を決定すること。
- ⑤ 各詳細設計において、地質特性、施工性、経済性、維持管理、環境等の観点に照らして整理、評価し、設計する案の選定を行うこと。

2) 各種計算

新設深井戸揚水量の算定、取水ポンプ規格、導水ポンプ規格、各種配管口径、電気設備容量の計算を行い、設計に必要な根拠資料を作成すること。

3) 図面作成

設計計画、各種計算に基づき、一般図、平面図、断面図、標準図及び各構造物の詳細図、配筋図、土工並びに付帯設備の詳細図面など、工事発注に必要な詳細設計図を作成すること。

4) 数量計算、特記仕様書

工事発注に必要な数量計算書、特記仕様書の作成を行うこと。

(7) 審査

基本条件の確認、設計計画の妥当性、各種計算と図面の整合性、数量計算書、特記仕様書の精査等を行うこと。

(8) その他

- 1) 計画検討は第 13 条に示す準拠図書等を遵守すること。
- 2) 本業務の対象である浜新田水源地深井戸整備工事は令和 9 年度に発注予定であるため、令和 9 年度予算要求時期(令和 8 年 10 月末)を目処に概算工事費及び工期算定書(施工手順書)を提出すること。
- 3) 本業務にかかる必要な法令等を発注者に説明し、必要があれば関係官公庁等との協議・調整を行うとともに諸手続及び届出書類等の作成支援を行うこと。

(成果品)

第 11 条 本業務の成果品は次のとおりとする。

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 1) 深井戸整備工事実施設計図及び設計資料(場内配管等を含む) | 2 部 |
| ① 設計図一式 | |
| ② 一般及び特記仕様書 | |
| ③ 金入り設計書 | |
| ④ 数量計算書 | |
| ⑤ 見積仕様書及び比較表 (見積業者及び担当連絡先のリスト化も行うこと) | |
| ⑥ 材料単価表 (採用した単価根拠資料も添付のこと) | |
| ⑦ 施工手順書 | |
| 2) 概算工事費 | 2 部 |
| 3) 打合せ議事録 (A4 ファイル綴じ) | 2 部 |
| 4) その他、監督員が指示するもの | 1 式 |
| 5) 上記の電子データ | 1 式 |

1)の設計図及び設計資料については、監督職員が指示する構成(書式・様式)での取り纏めとし、令和 9 年度に遅滞なく工事発注が可能となる成果品として納めること。

各電子データについては、PDF 及び Word・Excel・.bfox(.dxf)などの編集可能な形式で提出すること。

上記成果品については A4 金文字黒表紙にしてまとめるとともに、別途、業務概要書も作成すること。

図面については、現場用製本図面 2 部(見開き A2 サイズ)についても提出すること。

(テクリス登録)

第12条 受注者は契約後10日以内(休日等を除く)に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内(休日等を除く)に、完了時は完了後10日以内(休日等を除く)に測量調査設計業務実績情報サービス(TECRIS)に基づき「業務カルテ」を作成し、監督員の確認を受けた後に(財)日本建設情報総合センター発行の「業務カルテ受領書」の写しを監督員に提出すること。

(準拠図書等)

第13条 業務の実施にあたっては、本業務の特記仕様書によるほか、下記の基準等(いずれも最新版)に準拠して実施すること。

- ① 「水道法」及び「水道法施行令」
- ② 「水道施設設計指針 2024」日本水道協会
- ③ 「水道維持管理指針 2016」日本水道協会
- ④ 「水道工事標準仕様書 2010」日本水道協会
- ⑤ 「水道施設耐震工法指針・解説 2022」日本水道協会
- ⑥ 「鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説 2018」日本建築学会
- ⑦ 「コンクリート標準示方書 2017、2018 各編」土木学会
- ⑧ 「日本工業規格 JIS」
- ⑨ 「日本水道協会規格 JWWA」
- ⑩ 「水道用鋼管ハンドブック 1990」(日本水道鋼管協会)
- ⑪ 「便覧」(日本ダクタイル鉄管協会)
- ⑫ 「道路橋示方書・同解説」(日本道路協会)
- ⑬ 「道路土工」(日本道路協会)
- ⑭ 「水理公式集」(土木学会)
- ⑮ 「土木工学ハンドブック」(土木学会)
- ⑯ 「土木製図基準」(土木学会)
- ⑰ 「水道事業実務必携」最新版 全国簡易水道協議会
- ⑱ 「下水道用設計標準歩掛表 一第2巻 ポンプ場・処理場」
- ⑲ 「さく井・改修工事標準歩掛資料」
- ⑳ その他 監督員が指示する各種基準及び指針等

業務に対して、文献その他資料を引用した場合は、その文献及び資料名、ページを明記すること。

また、算出根拠、資料等は引用元を明確にして整理すること。

(その他事項)

第14条 本業務の実施にあたり、次の事項を遵守すること。

- 1) 受注者は、本業務で知り得た秘密を他に漏らしていけない。
- 2) 業務完了後であっても成果品に誤りがある場合には、直ちに訂正すること。
- 3) 新設井戸整備工事及び機械電気設備等工事が設計内容に著しい変更を行わないと施工できないと判明した場合、受注者は変更対応などに協力すること。

令和 年 月 日

(あて先) 上下水道部経営管理室

業 者 名

電話番号

質 問 書

工事（業務）名 令和8年度 浜新田水源地深井戸整備詳細設計業務委託

上記工事（業務）の見積資料について、下記のとおり質問します。

記

質問内容

- ・ 締切り 令和8年6月25日（木） 正午まで
- ・ 提出先 入札担当課 上下水道部 経営管理室

※提出がない場合は、質問事項無しとして取り扱います。

提出方法は、入札担当課まで直接持参の上、提出されるか、若しくは、Word データを電子メールにて提出してください。なお、電子メールで提出した場合は、受領確認の電話連絡をお願いします。

質問書送信先メールアドレス : suido@city.kyotanabe.lg.jp (経営管理室)

質問書受領確認電話番号 : 0774-62-0414 (経営管理室)

- ・ 回 答 令和8年6月30日（火） 13時以降
入札情報公開システムに掲載します。

※本設計書は参考資料であり、あくまで発注者の予定価格を算出するためのものであって、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

委 託 番 号		施 工 年 度	令和8年度
委 託 名 称	浜新田水源地深井戸整備詳細設計業務委託		
委 託 場 所	京田辺市 田辺 地内		
施 工 主	京田辺市公営企業管理者	委託概要 詳細設計業務 N=1式 【新設深井戸整備詳細設計 2,000m3/日】 【導水ポンプ設備更新詳細設計 7,300m3/日 撤去5,300m3/日】 水質分析 N=2検体 【遊離炭酸】	
設 計 区 分			
路 線 名			
委 託 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
委 託 日 数	日		
部 課 名	京田辺市上下水道部上水道課薪浄水場		
積 算 担 当	京田辺市上下水道部上水道課薪浄水場		
合 計 額			
委 託 価 格			
消費税相当額			

設 計 履 歴

今回

間接番号： 69

データ番号： 0426

基礎単価名： 令和8年05月01日

施工単価名： 水道事業実務必携 （令和7年度）

設計等業務委託積算歩掛(案) （令和6年度改訂版）

間接費率名： 令和8年度

データフォルダ： X:\¥WinmotoV2¥DAT¥R08-04¥

費率フォルダ： X:\¥WinmotoV2¥RIT¥R08-05¥

委 託 内 訳 書								
工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
委託費								
	設計委託業務				1			
		直接人件費（設計委託）		式	1			第 1号明細書
直接経費（設計委託）								
		旅費交通費（設計委託）		式	1			第 2号明細書
		電子成果品作成費（設計委託）		式	1			第 3号明細書
		その他（設計委託）		式	1			第 4号明細書
直接原価（設計委託）								
		間接原価（設計委託）		式	1			
業務原価（設計委託）								
		一般管理費（設計委託）		式	1			
設計委託業務費計								
業務委託価格								

[illegible]

間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
直接人件費(測量)					
直接人件費(一般調査)					
直接人件費(解析調査)					
直接人件費(設計委託)					
電子成果品作成費					
算 出 基 礎					

第 1号		直接人件費（設計委託）					1式当たり	明細書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
設計協議		初回、中間(3回)、最終 各半日 3工種(土木・機械・電気)		式		1							第 1号仕訳表
現地調査		1回 3工種(土木・機械・電気)		式		1							第 2号仕訳表
既存資料収集・整理		3工種(土木・機械・電気)		式		1							第 3号仕訳表
深井戸整備詳細設計		新設 2,000m3/日 土木・機械・電気・場内配管・場内整備		式		1							第 4号仕訳表
導水ポンプ設備更新詳細設計		更新7,300m3/日、撤去5,300m3/日 機械・電気		式		1							第 5号仕訳表
	計												

[illegible]

第 1号							1式当たり	仕訳表
設計協議								
初回、中間(3回)、最終 各半日 3工種(土木・機械・電気)								
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
初回打合せ	半日 3工種(土木・機械・電気)	業務	1				第 1号代価表	
中間打合せ	3回 各半日 3工種(土木・機械・電気)	業務	1				第 2号代価表	
最終打合せ	半日 3工種(土木・機械・電気)	業務	1				第 3号代価表	
計								

[illegible]

第 4号		深井戸整備詳細設計					1式当たり	仕訳表
新設 2,000m3/日 土木・機械・電気・場内配管・場内整備								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
深井戸新設設計		土木	2,000m3/日	井	1			第 6号代価表
深井戸新設設計		機械	2,000m3/日	井	1			第 7号代価表
深井戸新設設計		電気	2,000m3/日	井	1			第 8号代価表
深井戸新設設計		場内配管	2,000m3/日	式	1			第 9号代価表
深井戸新設設計		場内整備	2,000m3/日	式	1			第 10号代価表
	計							

第 5号		既存資料収集・整理 3工種(土木・機械・電気)					1業務当たり	代価表
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)				人				
技師(B)				人				
計								

第 6号		深井戸新設設計					1井当たり	代価表
		土木 2,000m3/日						
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
理事・技師長				人				
主任技師				人				
技師(A)				人				
技師(B)				人				
技師(C)				人				
技術員				人				
計								

第 7号		深井戸新設設計 機械 2,000m3/日					1井当たり	代価表
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師				人				
技師(A)				人				
技師(B)				人				
技師(C)				人				
技術員				人				
計								

第 8号		深井戸新設設計 電気 2,000m3/日					1井当たり	代価表
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師				人				
技師(A)				人				
技師(B)				人				
技師(C)				人				
技術員				人				
計								

第 9号		深井戸新設設計					1式当たり	代価表
場内配管 2,000m3/日								
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
理事・技師長				人				
主任技師				人				
技師（A）				人				
技師（B）				人				
技師（C）				人				
技術員				人				
計								

第 10号		深井戸新設設計 場内整備 2,000m3/日					1式当たり	代価表
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
理事・技師長				人				
主任技師				人				
技師（A）				人				
技師（B）				人				
技師（C）				人				
技術員				人				
計								

第 11号		導水ポンプ設備更新 機械設計					1式当たり	代価表	
		更新7,300m3/日、撤去5,300m3/日、更新レベル2							
名	称	規	格	単 位	数	量	単 価	金 額	摘 要
理事・技師長				人					
主任技師				人					
技師(A)				人					
技師(B)				人					
技師(C)				人					
技術員				人					
計									

第 12号		導水ポンプ設備更新 電気設計					1式当たり	代価表	
		更新7,300m3/日、撤去5,300m3/日、更新レベル2							
名	称	規	格	単 位	数	量	単 価	金 額	摘 要
理事・技師長				人					
主任技師				人					
技師(A)				人					
技師(B)				人					
技師(C)				人					
技術員				人					
計									

第 13号		連絡車(ライトバン)運転費					1日当たり	代価表
1 5 0 0 c c								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガソリン		レギュラー		ℓ	5.4			
ライトバン ガソリンエンジン・二輪駆動		乗車定員5名 排気量1.5L		hr				(9)欄
ライトバン ガソリンエンジン・二輪駆動		乗車定員5名 排気量1.5L		供/日				(11)欄
計								

第 14号		揚水試験費 ポンプ据付・引揚(各1日ずつ)					1式当たり	代価表
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
さく井主任				人				
さく井技師				人				
さく井工				人				
さく井助手				人				
諸雑費				式	1			
計								

第 15号		揚水試験費					1式当たり	代価表
		揚水試験 1日×2回						
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師(A)				人				
技師(C)				人				
さく井主任				人				
さく井工				人				
さく井助手				人				
諸雑費				式	1			
計								

第 16号		機械器具損料					1式当たり	代価表
深井戸用水中モータポンプ								
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
深井戸用水中モータポンプ		供用 口径65mm×全揚程35m×出力3.7kW		日				
深井戸用水中モータポンプ		運転 口径65mm×全揚程35m×出力3.7kW		日				
諸雑費				式	1			
計								

第 17号		報告書作成費					1式当たり	代価表				
名	称	規	格	単 位	数	量	単	価	金	額	摘	要
技師(A)				人								
技師(B)				人								
図 工				人								
水質分析費		遊離炭酸		検体		2						
諸雑費				式		1						
計												

【積算参考資料】

本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

- (1) 本業務の積算で採用した見積単価は、「別紙1」のとおり。
- (2) 本業務の積算で採用した歩掛は、「別紙2」のとおり。

(積算参考資料「別紙1」)

本業務の積算で採用した見積単価

名称	規格	単位	採用価格
水質分析費	遊離炭酸	検体	6,500

(積算参考資料「別紙2」)

揚水試験費 ポンプ据付・引揚(各1日ずつ)

1式あたり

名称	規格	単位	数量	摘要
さく井主任		人	2	
さく井技師		人	2	
さく井工		人	2	
さく井助手		人	2	
諸雑費		式	1	端数処理

揚水試験費 揚水試験 1日×2回

1式あたり

名称	規格	単位	数量	摘要
技師(A)		人	0.286	
技師(C)		人	0.857	
さく井主任		人	2	
さく井工		人	2	
さく井助手		人	2	
諸雑費		式	1	端数処理

機械器具損料 深井戸用水中モータポンプ

1式あたり

名称	規格	単位	数量	摘要
深井戸用水中モータポンプ	供用 口径φ65mm×全揚程35m×出力3.7kW	日	4	(15)欄機損P13-6 (令和7年度)
深井戸用水中モータポンプ	運転 口径φ65mm×全揚程35m×出力3.7kW	日	2	(13)欄機損P13-6 (令和7年度)
諸雑費		式	1	端数処理

報告書作成費

1式あたり

名称	規格	単位	数量	摘要
技師(A)		人	1	
技師(B)		人	2	
図工		人	3	(測量助手)
水質分析費	遊離炭酸	検体	2	別紙1
諸雑費		式	1	端数処理